



報道機関 各位

記者発表資料

令和3年11月22日(月)

問い合わせ先：植水中学校

校長：茂木里仁

担当：教頭 上田 泰正

電話：623-2581

植水中学校で学区内の電柱に芝浦工業大学の学生と想定浸水深の標識を掲示します

植水中学校の生徒が、フィールドワークをとおして、自分の家の近くの想定浸水深を把握し、水害に対する意識の向上を図るとともに、付近を通行する地域の方にも想定浸水深を確認していただくことを目的にしています。

また、芝浦工業大学 中口毅博 教授、そして、中口研究室の学生の皆さんにも協力をいただき、いざという時のために、地域と密接に連携して、より実効性のある防災教育を推進していきます。

※浸水深とは：洪水等によって市街地や家屋が水で覆われることを「浸水」と言い、その深さ（浸水域の地面から水面までの高さ）のことを「浸水深」と言います。

記

- 1 実施日時 令和3年11月24日(水) 13:45～15:35
- 2 場 所 植水中学校 通学区内
- 3 参加者
 - ・芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科
中口 毅博 教授 及び 大学生・大学院生
 - ・本校生徒（1・2年生）、教職員
- 4 協 力
 - ・東京電力パワーグリッド株式会社 埼玉総支社
 - ・芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科
- 5 主な内容
 - ・さいたま市のハザードマップを基に、本校が作成した「想定浸水深の標識」を、本校の通学区内の電柱に掲示（1週間程度掲示）
- 6 その他
 - ・さいたま市教育委員会より、令和2年度～令和4年度にかけて、防災教育（学校安全）の研究指定を受けております。
 - ＜研究主題＞
「全ての子どもたちの可能性を引き出し、主体的に学び、共に助け合う能力や態度の育成」～地域の災害と防災・減災を理解し、自助・共助・扶助を實踐できる生徒の姿を目指して～